

企業名：ENEOS ホールディングス

レポート名：統合レポート 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

ENEOS グループは2019年に「2040年長期ビジョン」を発表しており、そこからENEOSホールディングスの目指す姿がわかる。ENEOSホールディングスは「アジアを代表するエネルギー・素材企業グループ」としてバリューチェーンの最適化を図り、お客様・社会が求める多様な商品やサービスの安定的かつ効率的な提供を通じて、社会の発展に貢献すること、成長分野のグローバル展開や技術立脚型事業の拡大を推進すると共に、今後のデジタル革命の進展や社会ニーズの変化を後期と捉えて革新的な事業を創出・実行することにより、新たな価値を創造すること、環境負荷の低い事業を強化・拡大すると共に、環境対応型事業の強化、自社排出分のカーボンニュートラルの追求などを通じて、低炭素・循環型社会の形成に貢献することの3つを目指す姿として掲げている。

また、ENEOSグループは「ESG経営に関する基本方針」を定めており、脱炭素社会形成への貢献や循環型社会の形成といった環境への取り組みや、安全確保や人権の尊重などといった社会性への取り組みを行なっている。

ENEOSホールディングスは長期的で具体的なプランが立っており、社会全体へ十分に貢献できていることから、この会社が目指す姿が理解できる。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

ENEOSホールディングスは資源開発から製造・販売・リサイクルに至るまで多様・グローバルなバリューチェーンを有すること、国内最大の精製・生産・供給ネットワークを確立していること、世界シェアNo.1の製品群等に代表されるエネルギー・素材関連の革新的技術を有していることの3つを主な強みとしている。

ENEOSホールディングスの事業は主にエネルギー事業、石油・天然ガス開発事業、金属事業の3つに分けられる。3つそれぞれに競争優位性がある。

エネルギー事業では生産最適化ツールによる競争力のある原油調達、全国約13000カ所のサービスステーションネットワーク、一本化された販売諸施策、全国12ヶ所の製油所・製造所ネットワーク、グローバルな潤滑油供給網、グローバル市場で存在感のある石油化学品生産能力、高機能な素材技術、有窮地を活用した太陽光・風力・バイオマス等の再生可能エネルギー事業の展開といった強みがある。

石油・天然ガス開発事業では産油国政府や地域との長期的な関係を重視した安全で安定した操業、米国・東南アジアでの事業推進や資源国との共同研究による知見の蓄積といった強

みがある。

金属事業では電気が使われる社会で中心素材となる銅や各種レアメタルを主力とする製品群、資源開発や製錬事業で培った高純度化・リサイクル等の要素技術、さまざまな要素技術を組み合わせ応用した、グローバルニッチトップの機能材料・薄膜材料等の製品ラインアップ、資源、製錬から先端素材、リサイクル事業までの一貫したサプライチェーンといった強みがある。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

エネルギー事業においては人口減少やエコカーの普及等による石油製品内需減退や海外のコスト競争力の高い大規模な製油所との競争、グローバルで急速に進む脱炭素化というリスクがある。石油・天然ガス開発事業においては脱炭素化の急速な進展による化石燃料需要の想定以上の減少、石油・天然ガス開発投資の停滞・減少に伴う資源価格の不安定化といったリスクがある。金属事業においては収益性を左右する金属価格の変動、優良功績の減少、環境規制強化、アジア企業との競争激化、日本国内市場の縮小、製品ライフサイクルの短期化・大体素材登場・景気悪化等による私情喪失といったリスクがある。しかし、それらのリスクを踏まえた上で経営計画の基本方針を立てられているため、ENEOS ホールディングスの競争優位性には持続性が見込める。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

ENEOS グループは「創造と革新の精神を持ってグローバルに挑戦し続ける人材を確保すべく、継続的かつ計画的に育成する。」「経営基盤強化のため、中長期的な企業価値向上の実現を担う人材を育成する。」「全従業員一人ひとりの適性に合わせた多様な育成・成長を図り、自主的に成長を目指す従業員を積極的に支援する体制を整える。」という人材育成の基本方針を掲げている。ENEOS グループはこの方針に基づいて OJT(部門間人事異動やタフアサインメント等の実施)や Off-JT(社内階層別選抜研修や国内外のビジネススクール等への派遣)といった効果的な育成プロセスと、人材ごとの個別育成計画を策定していることから、この会社では自身の人的資本の価値向上を達成できると思った。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

自社のリスクを把握できているのは評価すべきポイントであるが、そのリスクそれぞれに対する具体的な対策案を記述できればさらに良いと思う。